

# 感染症情報 2月24日～3月2日

府下小児科194医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	2,059例	(堺市 187例)
②RSウイルス感染症	354例	(堺市 26例)
③溶連菌感染症	183例	(堺市 20例)
④咽頭結膜熱	49例	(堺市 4例)
⑤水痘	43例	(堺市 4例)

府下302医療機関(堺市29)から

**インフルエンザ 527例(堺市 23例)**

報告数による順位。前週比3.2%減の2,785件。感染性胃腸炎が府下で前週から2%減、堺市で前週197例→今回187例。RSウイルス感染症が府下で1%減、堺市で前回32例→今回26例。溶連菌感染症が府下で21%減、堺市で前週32例→今回20例。咽頭結膜熱が府下で2%増、堺市で前週7例→今回4例であった。水痘が大阪府で前週から8%増、堺市で6例→4例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で前週5例→今回7例。堺市は4週続けて0例であった。

インフルエンザが府下で前週515例→今回527例で2%増。堺市は前週53例→今回23例で57%の大幅減。定点当たり大阪府は1.75、堺市は0.79であった。北河内、中河内、南河内、大阪市東部、大阪市南部ブロックでは増加していたとある。

府下302医療機関(堺市29)から

**新型コロナウイルス感染症 862例(堺市 103例)**  
**大阪府定点 2.85 堺市定点 3.55**

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
38	77	49	88	86	77	73	80	82	91	121	862

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回938例→今回862例で8%減、定点当たり3.11→2.85であった。堺市で前週97例→今回103例で6%増、定点当たり3.34→3.55であった。大阪府のブロック別でワーストとなった。

麻疹や風疹の報告はなかった。